

〔国際会議開催〕

申 請 者	京都大学大学院 工学研究科 助教 名村 今日子	2195010
国際会議名称	Workshop on Optofluidics and Electrokinetics in Micro and Nanoscale Devices	
開 催 期 間	2019 年 11 月 7 日～11 月 8 日	
開 催 場 所	キャンパスプラザ京都（京都市下京区）	
申請者の役割	組織委員長・会計	

概 要：

近年の少子・高齢化問題は深刻であり，個人が健康管理を行うセルフメディケーションの重要性が取りざたされている。人の汗や尿などからは様々な健康情報が得られるが，流体を扱う小型の電子デバイスの開発は未だ開発途上にある。本研究会では，このようなデバイス中での流体操作や流体中の物質操作，センシングに関連する最新の研究成果について発表・討論することを目的としている。特に，電気・熱泳動，光圧，相変化などを利用した様々な最先端の流体駆動基礎技術について，それぞれの学問分野からの視点で理解を深め，原理追求を行う場を与える。また本研究会のもう一つの意義は，申請者を含めた国内外の 30 代-40 代前半の若手研究者の交流と成長の場を与えることである。

本研究会はこれまでに台湾およびイスラエルにて開催された研究会（TIX）を前身とし，今回で第 3 回目となる。これまでは台湾およびイスラエルの大学を中心とした研究者のための国際交流事業として位置づけられていた。今年度は，より世界に開けた，第一線の科学者が集まる研究会とするため，日本での開催となった。参加者は 41 名で，そのうち 10 名は国外（台湾，イスラエル，アメリカ，中国，香港）からの参加であった。会期中は 17 件の招待講演と 7 件のポスター発表とともに活発な議論がなされた。さらに本会議では，申請者を含めた国内外の 30 代-40 代前半の若手研究者と，ベテラン研究者が同じ招待講演者として一堂に会し，綿密なディスカッションを行なった。自由にお互いの意見を交わすことで，単なる最新研究の報告にとどまらず，若手研究者の成長と当該分野の活性化の両方が成り，当初の目的が達成された。